

前回推進会議の振り返り

1. 北海道新幹線新八雲（仮称）駅周辺整備推進会議開催概要

会 議	開催日	報告・議題
令和6年度第1回推進会議	令和6年5月14日	①駅舎デザイン推薦書(案)について ②屋外駐車場について ③観光案内施設について ④駅周辺整備・ゾーニングイメージについて



推進会議の様子

2. 前回推進会議等の主な意見（1）

① 駅舎デザイン推薦書(案)について(報告)

- ・特段意見無し

② 屋外駐車場について

- ・高架下を歩道利用できないか
- ・高架下を歩道利用できない(しない)場合、歩道の必要性について十分検討のうえ、取り進めるという要望を付け了承

○歩道整備は必要という方針とする

③ 観光案内施設について

- ・駅舎内の観光マップ、自動販売機、待合室への展示について、JR北海道、機構、八雲町で協議が必要

➡ 駅利用客の動線に支障の無い範囲であればスペース利用OK

➡ 壁と一体化する場合は、設計段階から費用負担が発生

➡ 後付けのものであれば、駅舎工事後の協議でも問題なし

➡ 後付けでもスペースを借りるということで賃借料は発生

○駅舎内に設置するものは後付けのものを基本とする

JR北海道、機構、
八雲町で3者協議
実施

2. 前回推進会議等の主な意見（2）

④ 駅周辺整備・ゾーニングイメージについて

◆ 前回推進会議で出た主な意見

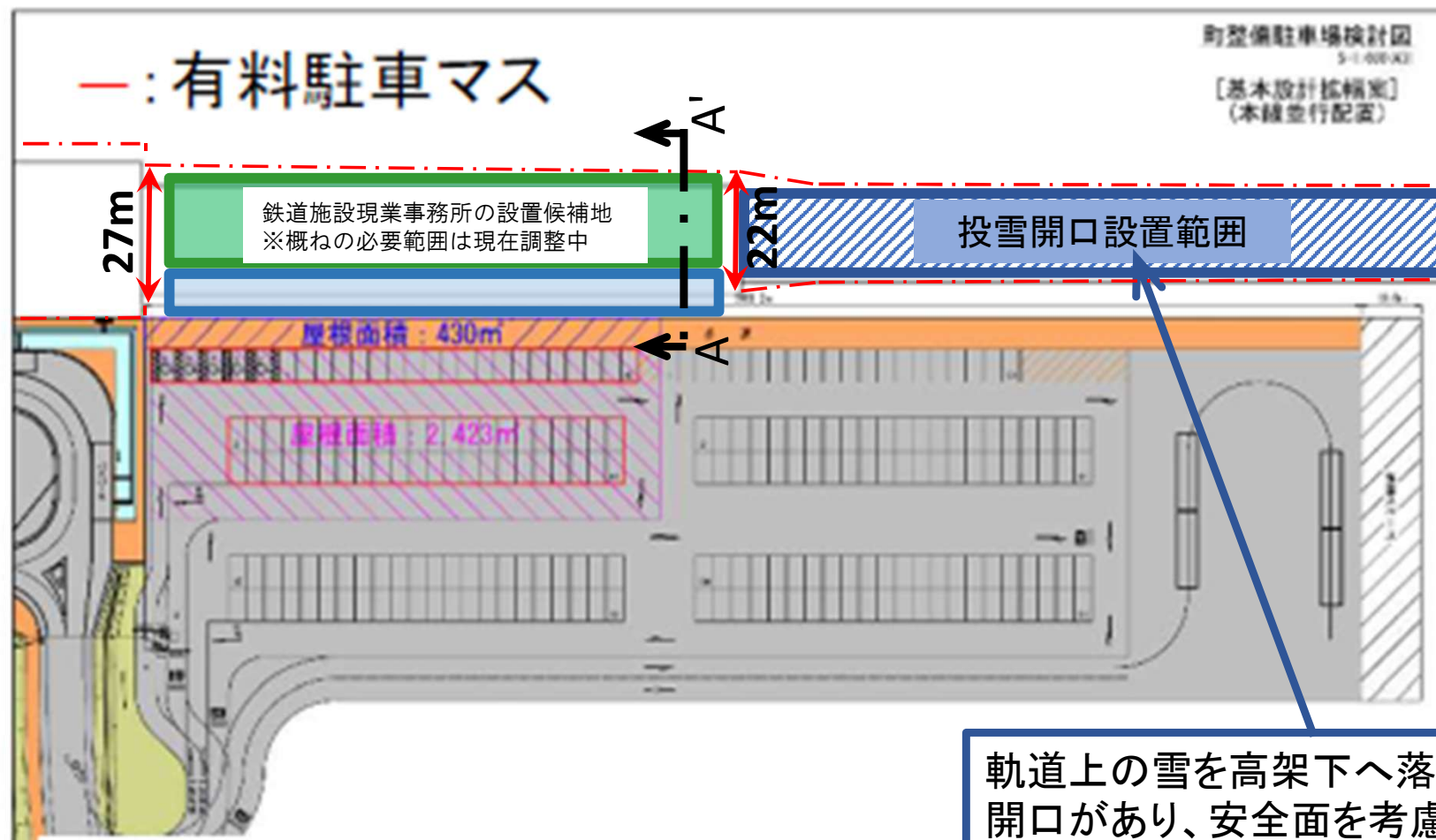
- ・牧歌的風景を残しつつも、体験ゾーンや野菜等の生産ゾーンもあって良い
- ・観光客に向けた商品やサービスをブラッシュアップしていく必要がある。とっかかりという部分では良い、ただし維持・運営・管理という面でお金がかかる心配はある
- ・既にある様々な施設に誘導し、そこで体験や食を楽しんでもらった方が良い
- ・駅舎から見えるところに施設は無い方が良い
- ・牛を放牧するには課題が多い、生き物を扱うのは大変
- ・物販や体験コーナーを設けても維持していけるのか
- ・駐車場整備はコスト削減を図っているのに対して施設整備するのは矛盾していないか
- ・雑草や未耕作地にならないよう「牧草地」として整備すべきではないか

○新駅隣接施設も含め、駅周辺に必要な機能を導入することを検討

高架下利用について

1. 高架下へ通路を確保できた場合のイメージ

--- : JRTT用地境界

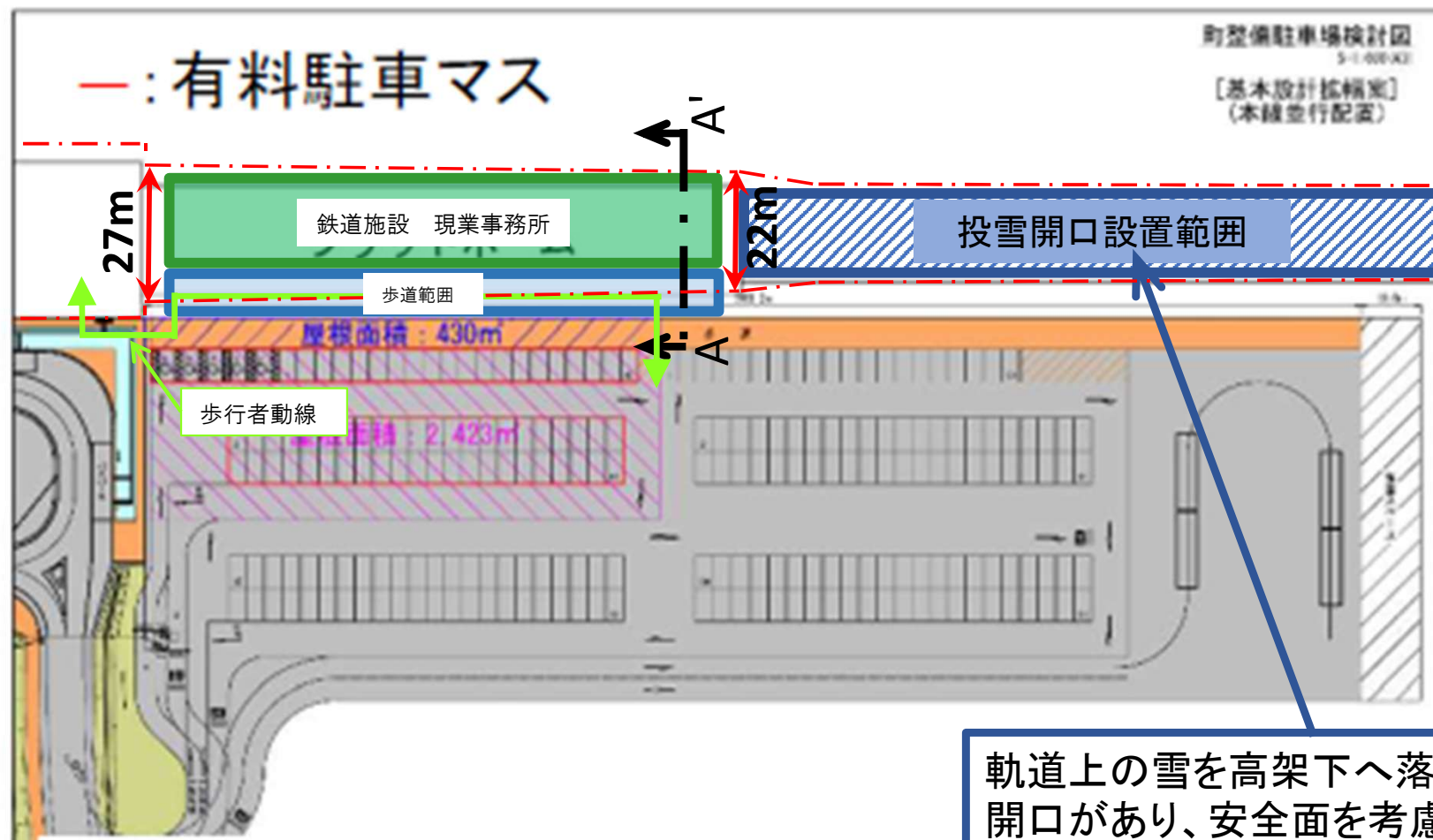


軌道上の雪を高架下へ落とすための開口があり、安全面を考慮して第三者の立ち入りは不可

高架下利用について

2. 高架下へ通路を確保できた場合のイメージ

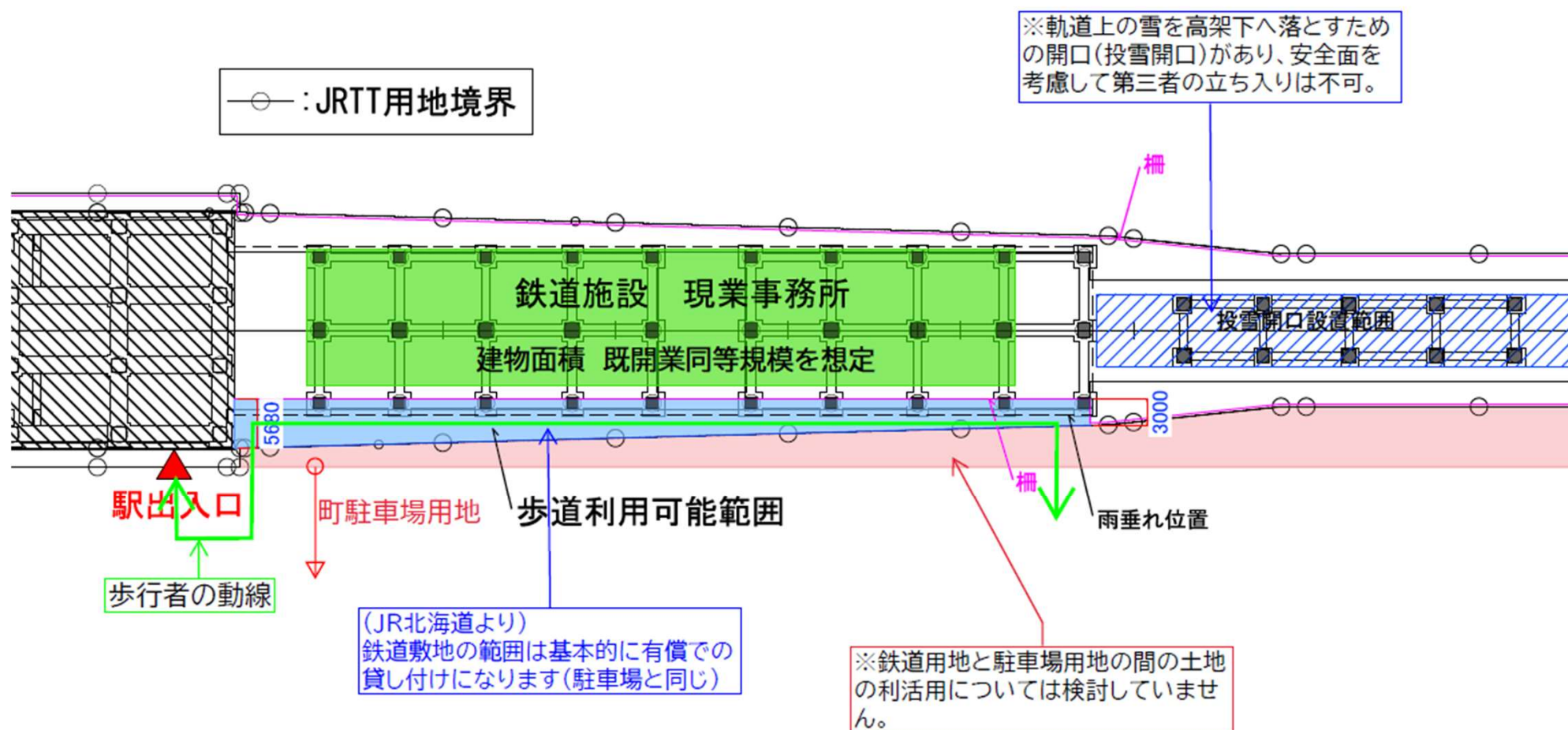
--- : JRTT用地境界



軌道上の雪を高架下へ落とすための開口があり、安全面を考慮して第三者の立ち入りは不可

高架下利用について

3. 高架下へ通路を確保できた場合のイメージ図詳細(平面)



高架下利用について

4. 高架下へ通路を確保できた場合のイメージ図詳細(断面)

高さが6mあり、防雪壁等もなく、雨雪が吹き込む恐れがあるため、高架下の場合でも歩道用の屋根(シェルター)は必要

鉄道敷地の範囲は基本的に有償での貸し付けとなる

シェルターイメージ

